

採択番号:39

1. 提案団体 株式会社栄光

実施委員会 日本教育大学院教授、岩手県総合教育センター 等
 実施協力機関 関エデュケーション・ネットワーク 創設開発研究所 等

2. 主要なテーマ

- ①リソース ②権限・責任 ③多様な主体 ④教育行財政

3. 検証すべき仮説

- ①地域に開かれた学校運営を行い、学校教育に多様な人材を活用するためには、外部ボランティア教員の活用が有効であることを検証
- ②外部ボランティア教員の活用にあたっては、学校という場に入材を派遣するという特殊性に配慮した制度設計が必要であることを検証
- ③②で検証した制度設計を応用することで、学校現場への広範な人材派遣事業を展開することが可能となる

4. 背景・問題意識

- 外部ボランティア教員の学校教育への参画が求められる背景はあるが、実際の教育現場は受け入れる土壌を持っていない。教員の外部ボランティア教員導入に関する意識をまず把握したい。
- 外部ボランティア教員の活用が一般化・拡大されない原因の大きな理由は教育現場からのニーズと、ボランティアサイドのスキルや条件とのマッチングの仕組みがうまくできていない。ボランティア教員の導入と継続的活用のための最も有効な仕組みとはどんな形か。

5. 実施方法・検証方法

- 2か年計画
- ボランティア教員の有効性について
 - ・教育現場ニーズ、外部ボランティア教員のシーズの把握（アンケート調査）
- 外部ボランティア教員活用のための有効な仕組みづくり
 - ・導入実績と導入検討技を対象とした調査
- 民間企業で既に成功実績のある「教職員派遣システム」の適用について
 - ・教育委員会を対象としたヒアリングの実施

6. 実施体制

(1) 実施委員会

2007年度より、黒石憲洋と高橋誠の2名が実施委員会に参加。その他の委員は2006年度と同じ。また、協力研究者として、吉田 和夫が参加。

①委員の人数 9名

②委員の構成

氏名	職名	職場所在地
○大野 精一	日本教育大学院大学教授	東京都千代田区二番町8-2
江川 政成	十文字学園女子大学教授	埼玉県新座市菅沢2-1-28
黒石 憲洋	日本教育大学院大学専任講師	東京都千代田区二番町8-2
齊藤 誠	東洋大学経営学部講師	東京都文京区白山5-28-20
佐藤 一也	岩手県立総合教育センター研修主事	岩手県花巻市北湯口第2地割02番1
○高橋 誠	日本教育大学院大学教授	東京都千代田区二番町8-2
高見 茂	京都大学教育学部教授	京都市左京区吉田本町
○出口 英樹	日本教育大学院大学専任講師	東京都千代田区二番町8-2
原 邦夫	千葉県立船橋西高等学校教諭	千葉県船橋市旭町333

(アイウエオ順)

- * 大野精一、高橋誠、出口英樹(○印)が中核となる調査研究者
- * 佐藤一也氏、高見茂氏は書面で委員会に参加

③協力研究者 1名

吉田 和夫	八王子市立城山中学校校長	東京都八王子市市川町792-2
-------	--------------	-----------------